

2023年3月期 決算説明資料



1. 事業の概要
2. 通期実績と通期予想
3. 補足資料

1. 事業の概要

- 1-1 事業部門の説明 ホース部門
- 1-2 事業部門の説明 ゴムシート部門
- 1-3 事業部門の説明 成形品部門
- 1-4 売上構成

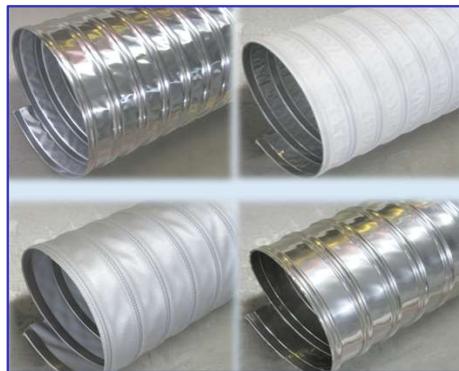
1-1 事業部門の説明 ホース部門

家電用ホース



エアコン用ホース

産業用ホース



耐熱用ダクトホース



フレキシブルホース



一般用ホース

土木・建築用ホース

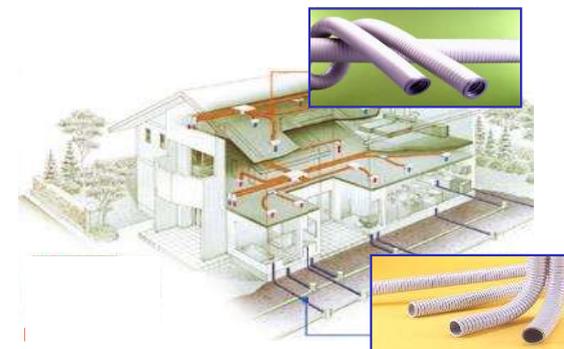


耐圧用サクションホース



地中埋設管

住宅用ホース



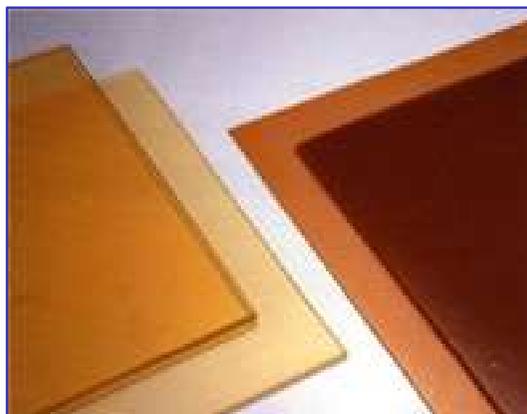
住宅用空調ダクトホース

1-2 事業部門の説明 ゴムシート部門

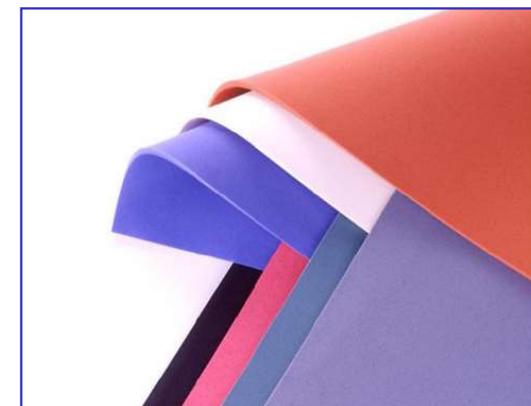
ゴムシート



ウレタンゴムシート



スポンジシート



玄関用マット



融雪用マット



1-3 事業部門の説明 成形品部門



本田技研工業株式会社 提供

エアクリナーモジュール



自動車用吸気系部品



精密成形品



押出製品



1-4 売上構成

自動車部品



自動車向け 52%

家電用ホース



押出製品



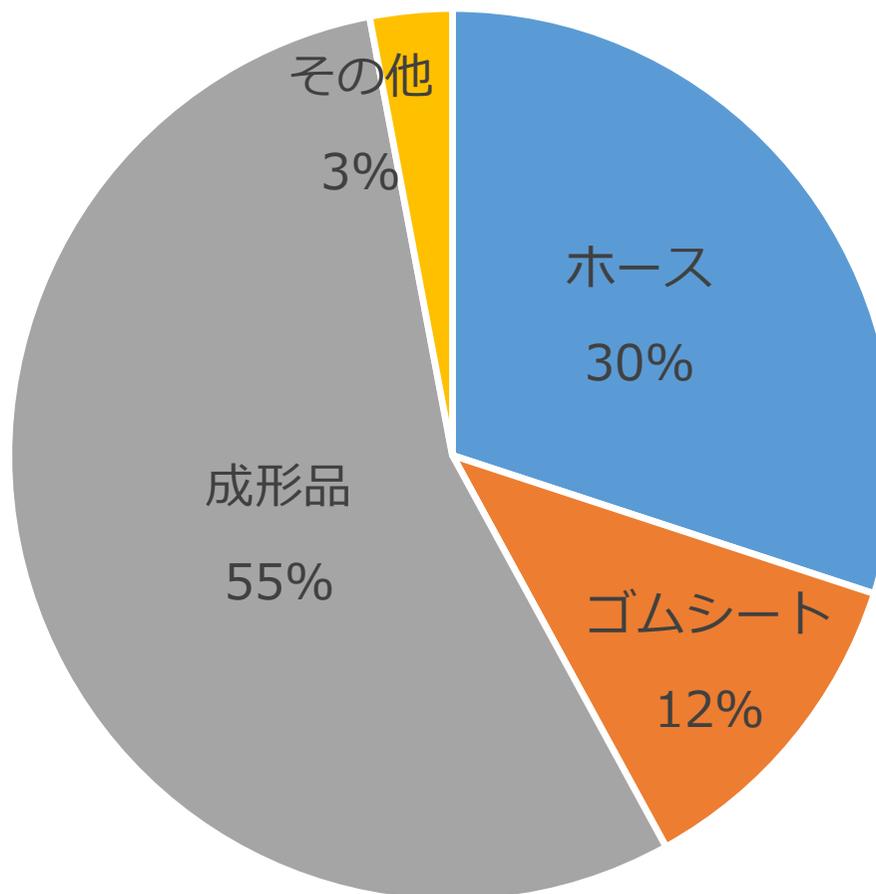
産業用ホース



精密成形品



ゴムシート



2. 通期実績と通期予想

- 2-1 2023年3月期 通期決算ハイライト
- 2-2 2023年3月期 通期決算のポイント
- 2-3 2023年3月期 通期実績 営業利益増減要因分析
- 2-4 2024年3月期 通期業績予想ハイライト
- 2-5 2024年3月期 通期業績予想のポイント
- 2-6 セグメント情報 通期実績と予想 (日本)
- 2-7 セグメント情報 通期実績と予想 (米州)
- 2-8 セグメント情報 通期実績と予想 (東南アジア)
- 2-9 セグメント情報 通期実績と予想 (中国)
- 2-10 業績推移

2-1 2023年3月期 通期決算ハイライト

| | 22年3月期 | | 23年3月期 | | (単位：百万円) 前期増減 | |
|---------------------|--------|------|--------|------|------------------|--------|
| | 実績 | % | 実績 | % | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 40,878 | | 45,285 | | +4,406 | +10.8% |
| 営業利益 | 1,280 | 3.1% | 1,090 | 2.4% | -189 | -14.8% |
| 経常利益 | 1,797 | 4.4% | 1,869 | 4.1% | +72 | +4.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 831 | 2.0% | 816 | 1.8% | -15 | -1.8% |
| 一株当たり当期純利益 (円) | 41.60 | | 41.02 | | -0.58 | |
| ROE | 2.7% | | 2.4% | | -0.3pt | |
| 為替レート USD | 115.02 | | 132.70 | | +17.68 | |

2-2 2023年3月期 通期決算のポイント

○ 売上高 前期比+10.8%

- ☆ 売上高は2022年3月期から2期連続の増収
- ☆ 新型コロナウイルス感染症の再拡大や半導体不足による自動車メーカーの減産の影響があったが、ホースなど自動車以外の販売好調と円安による為替換算の影響により増収
- ☆ 中国以外のセグメント（日本、米州、東南アジア）で増収

○ 営業利益 前期比-14.8%

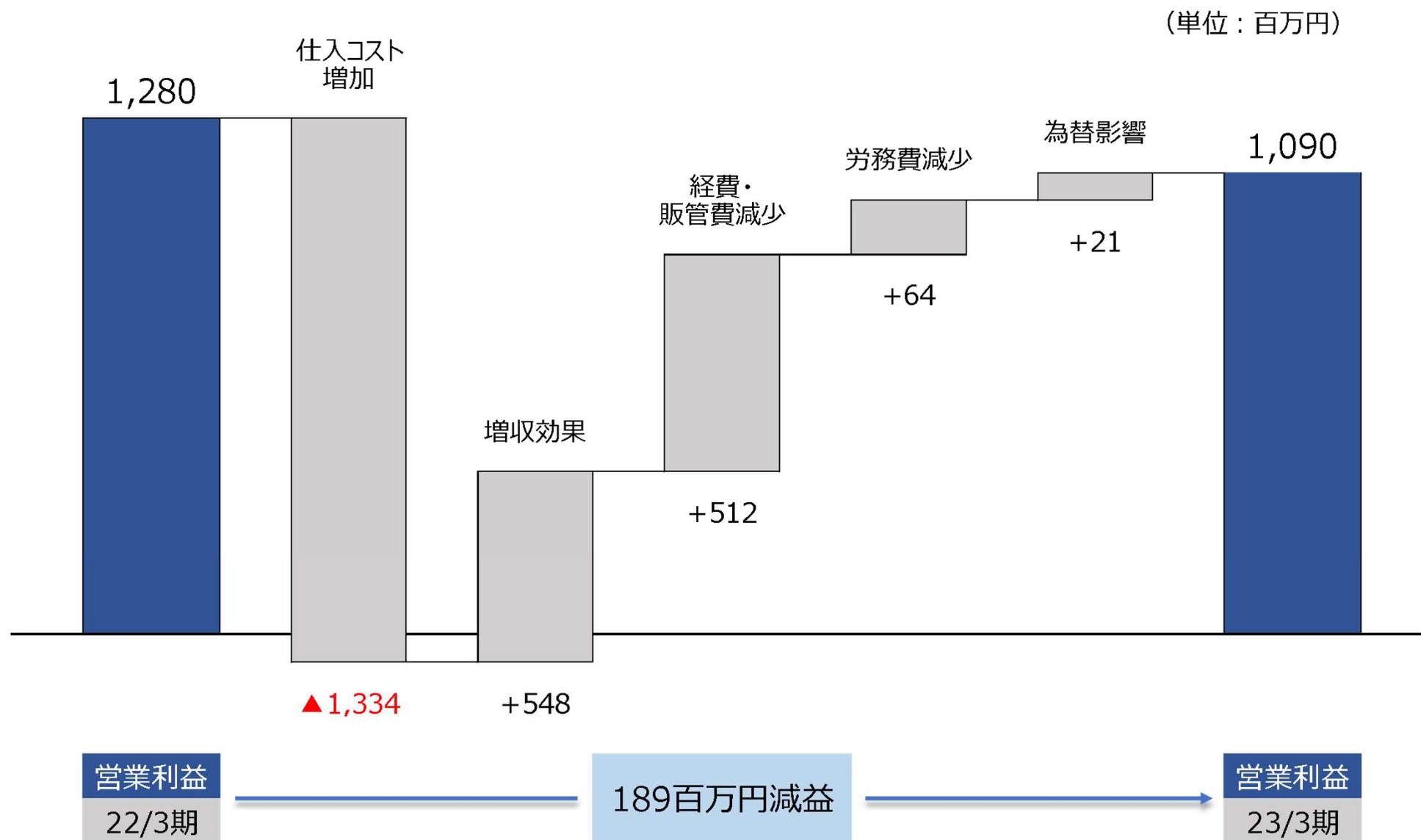
- ☆ 原材料価格や物流費・光熱費など諸経費の高騰によるコスト増、半導体不足や中国の都市封鎖等による顧客の減産に対応してのコスト増により減益
- ☆ 米州以外のセグメント（日本、東南アジア、中国）で減益

○ 経常利益 前期比+4.0%

○ 当期純利益 前期比-1.8%

- ☆ 経常利益は、営業外収益の受取補償金が増加したほか、期末にかけて円安が進行したことにより為替差益を計上して増益
- ☆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、非支配株主に帰属する当期純利益の増加で減益

2-3 2023年3月期 通期実績 営業利益増減要因分析



2-4 2024年3月期 通期業績予想ハイライト

(単位：百万円)

| | 23年3月期 | | 24年3月期 | | 前期増減 | |
|---------------------|--------|------|--------|------|--------|---------|
| | 実績 | % | 予想 | % | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 45,285 | | 47,800 | | +2,514 | +5.6% |
| 営業利益 | 1,090 | 2.4% | 2,200 | 4.6% | +1,109 | +101.7% |
| 経常利益 | 1,869 | 4.1% | 2,300 | 4.8% | +430 | +23.0% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 816 | 1.8% | 1,400 | 2.9% | +583 | +71.5% |
| 一株当たり当期純利益 (円) | 41.02 | | 70.33 | | +29.31 | |
| 為替レート USD | 132.70 | | 130.00 | | -2.70 | |

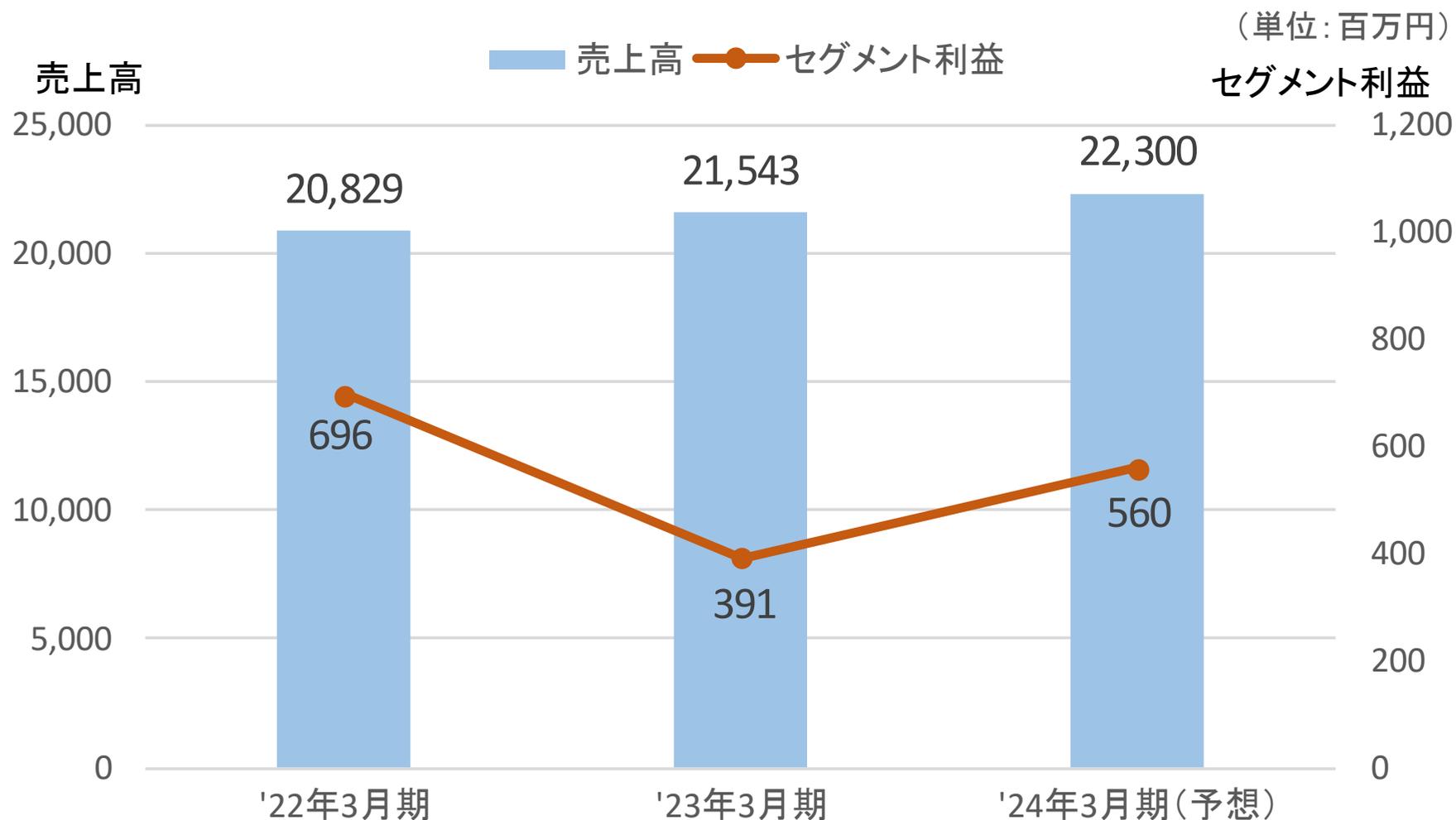
2-5 2024年3月期 通期業績予想のポイント

- 売上高 前期比+5.6%
 - ☆ 自動車部品は半導体不足の影響が徐々に解消され、生産台数の増加により増収
 - ☆ ホース、ゴムシートも伸長し増収
 - ☆ 全セグメント（日本、米州、東南アジア、中国）で増収

- 営業利益 前期比+101.7%
 - ☆ 自動車部品は顧客の生産台数の増加による増収効果を受けて増益
 - ☆ 前期に行ったコスト上昇分の売価反映が期首から適用されることにより増益
 - ☆ 米州における人件費や輸送費の上昇による収益性の低下からの改善

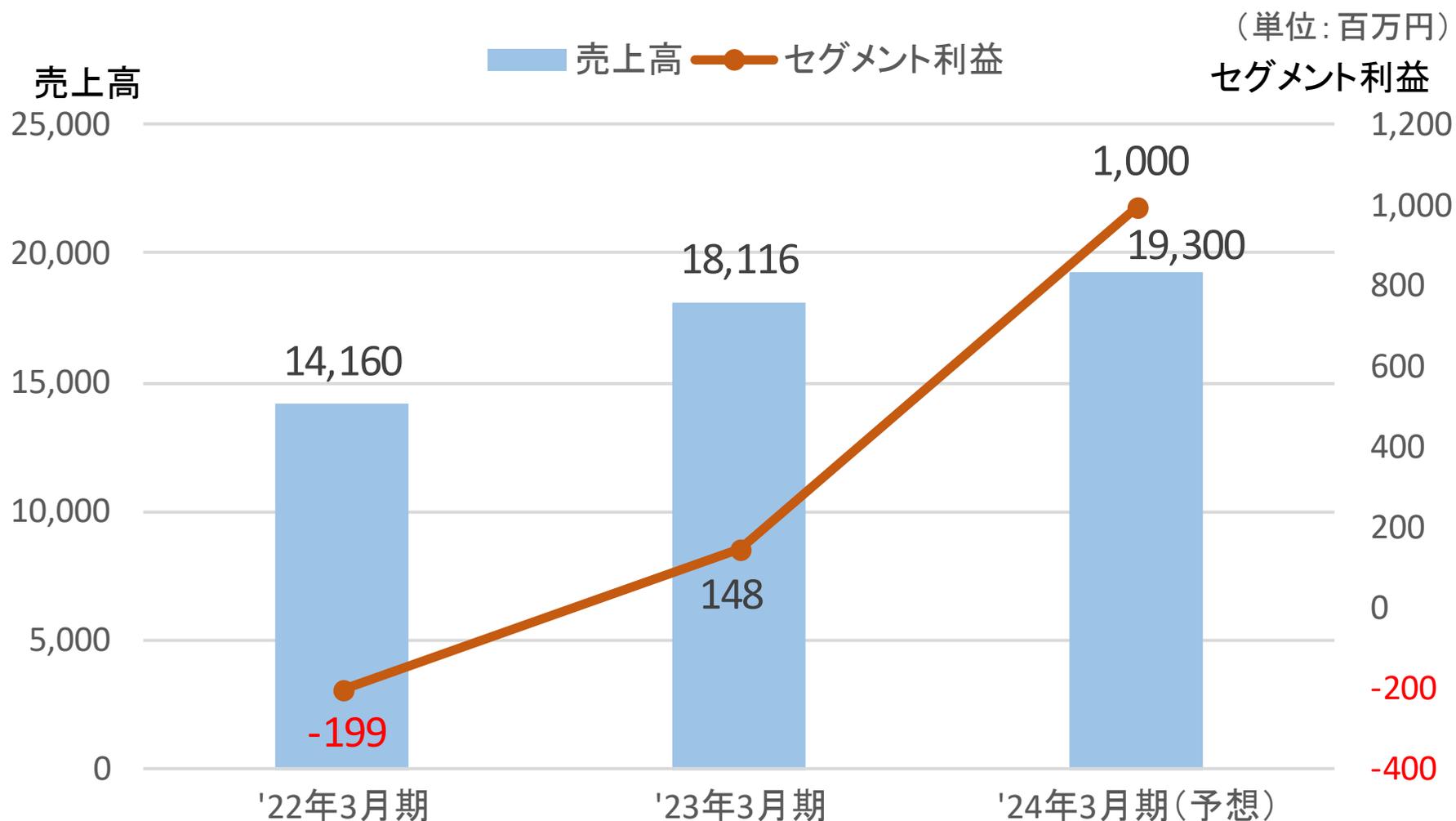
- 経常利益 前期比+23.0%
 - ☆ 営業利益の増益が前期に計上した為替差益の減少をカバーして増益

2-6 セグメント情報 通期実績と予想（日本）



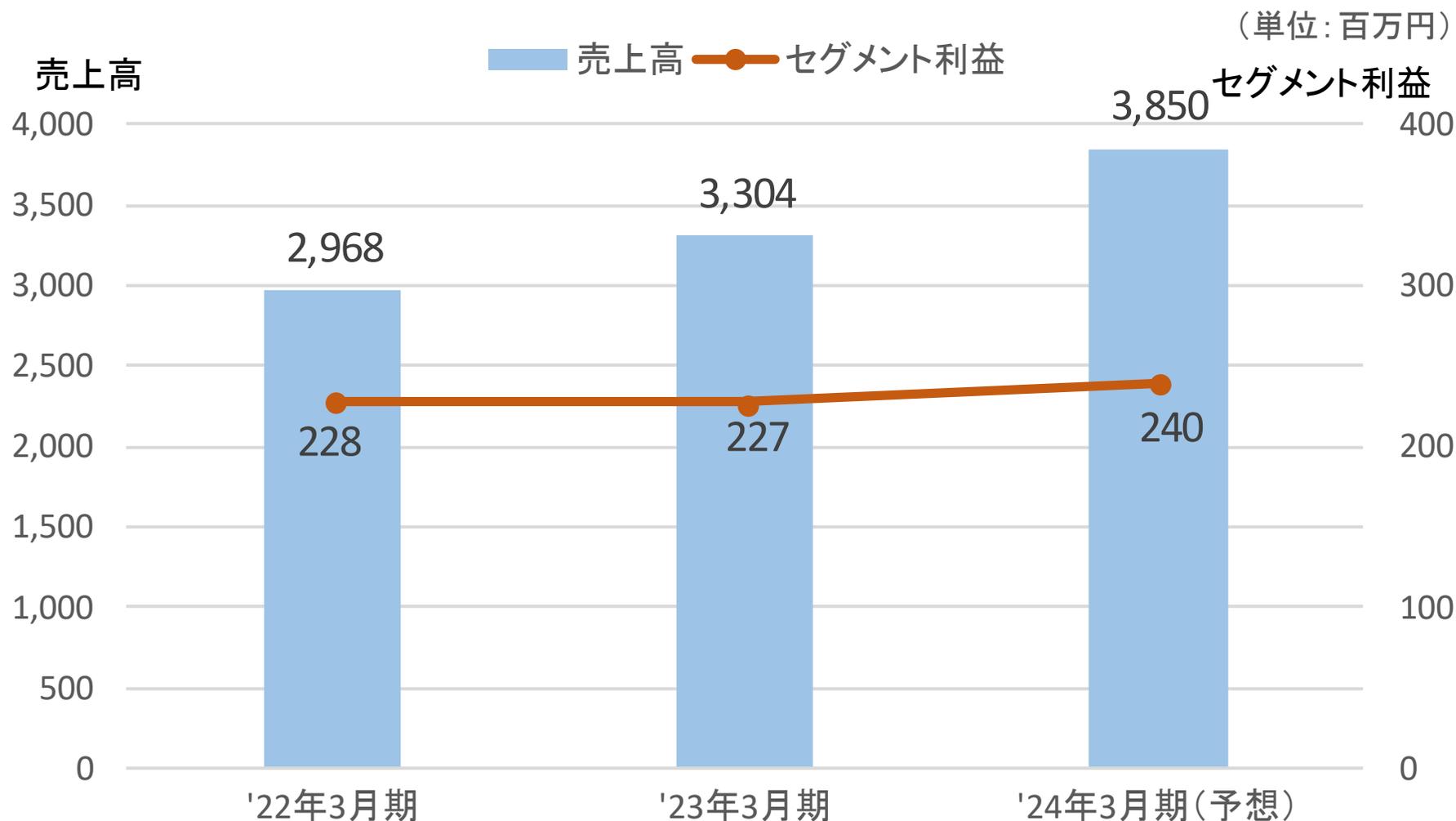
・23年3月期のセグメント利益は増収ながら原材料価格や物流費などの高騰により減益

2-7 セグメント情報 通期実績と予想（米州）



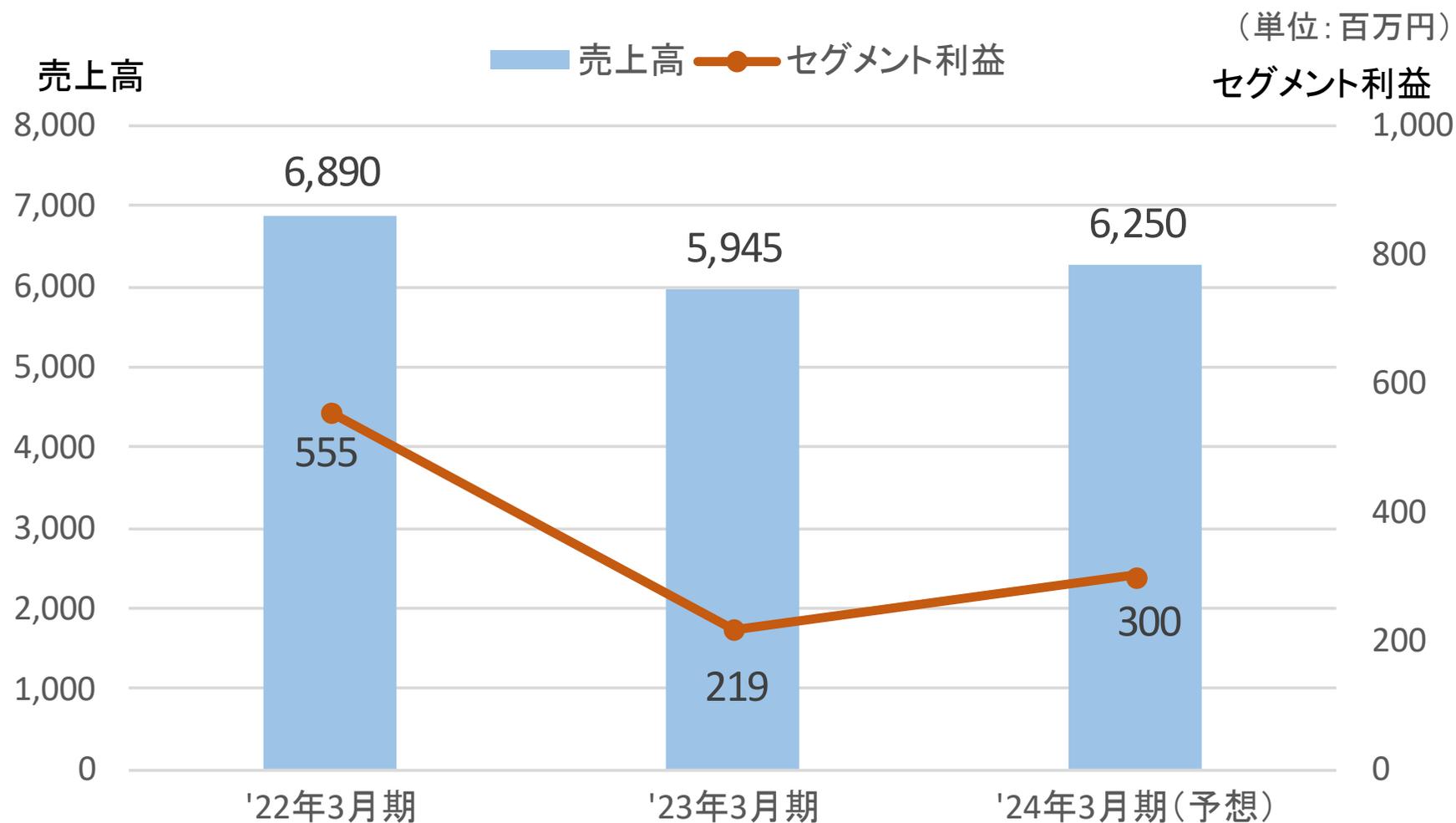
・23年3月期のセグメント利益はホースの好調と自動車部品のコスト高騰分一部売価反映により黒字化

2-8 セグメント情報 通期実績と予想（東南アジア）



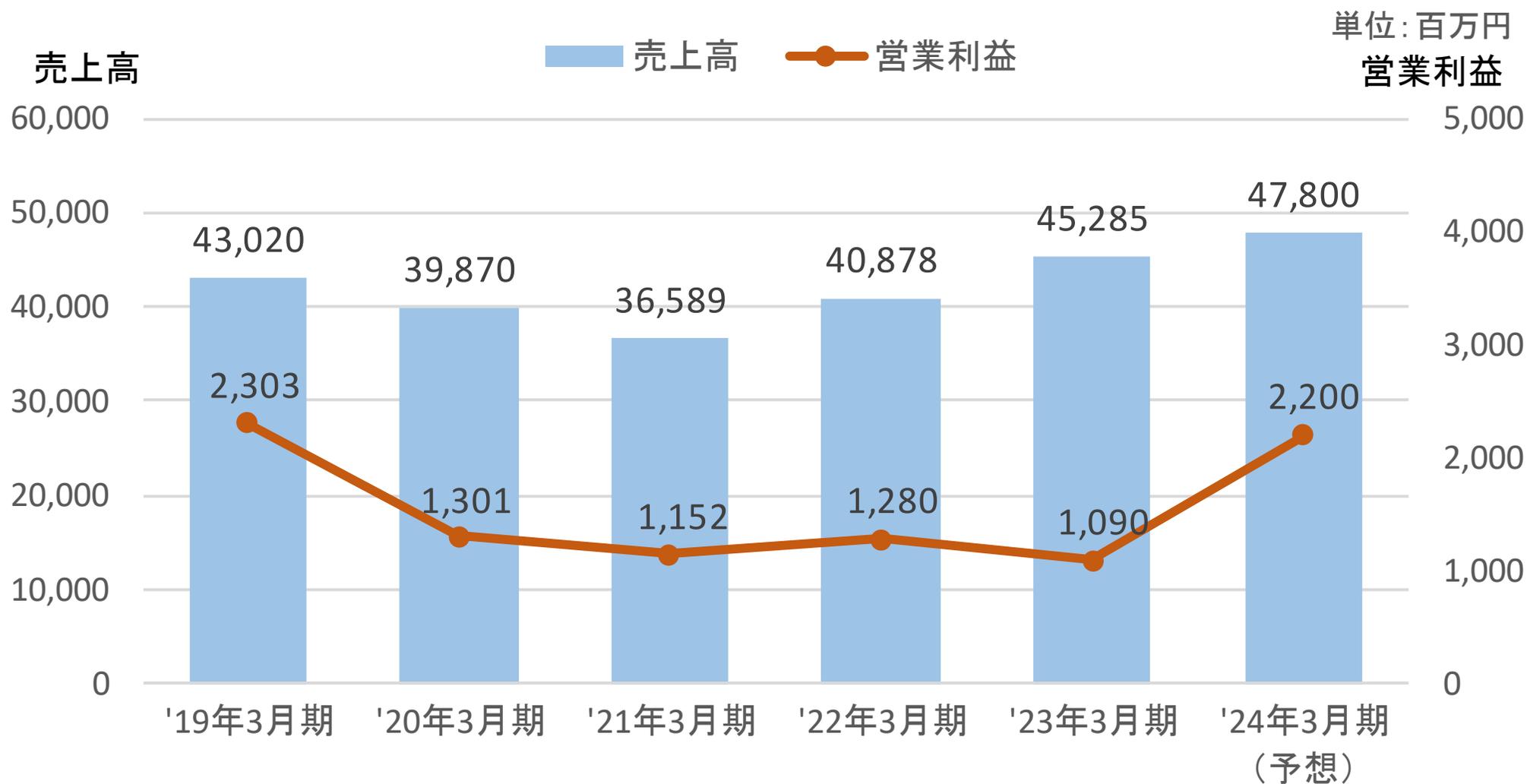
・23年3月期のセグメント利益は売上高が為替影響を除くと実質は減収であり微減益

2-9 セグメント情報 通期実績と予想（中国）



・23年3月期のセグメント利益は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅な減益

2-10 業績推移



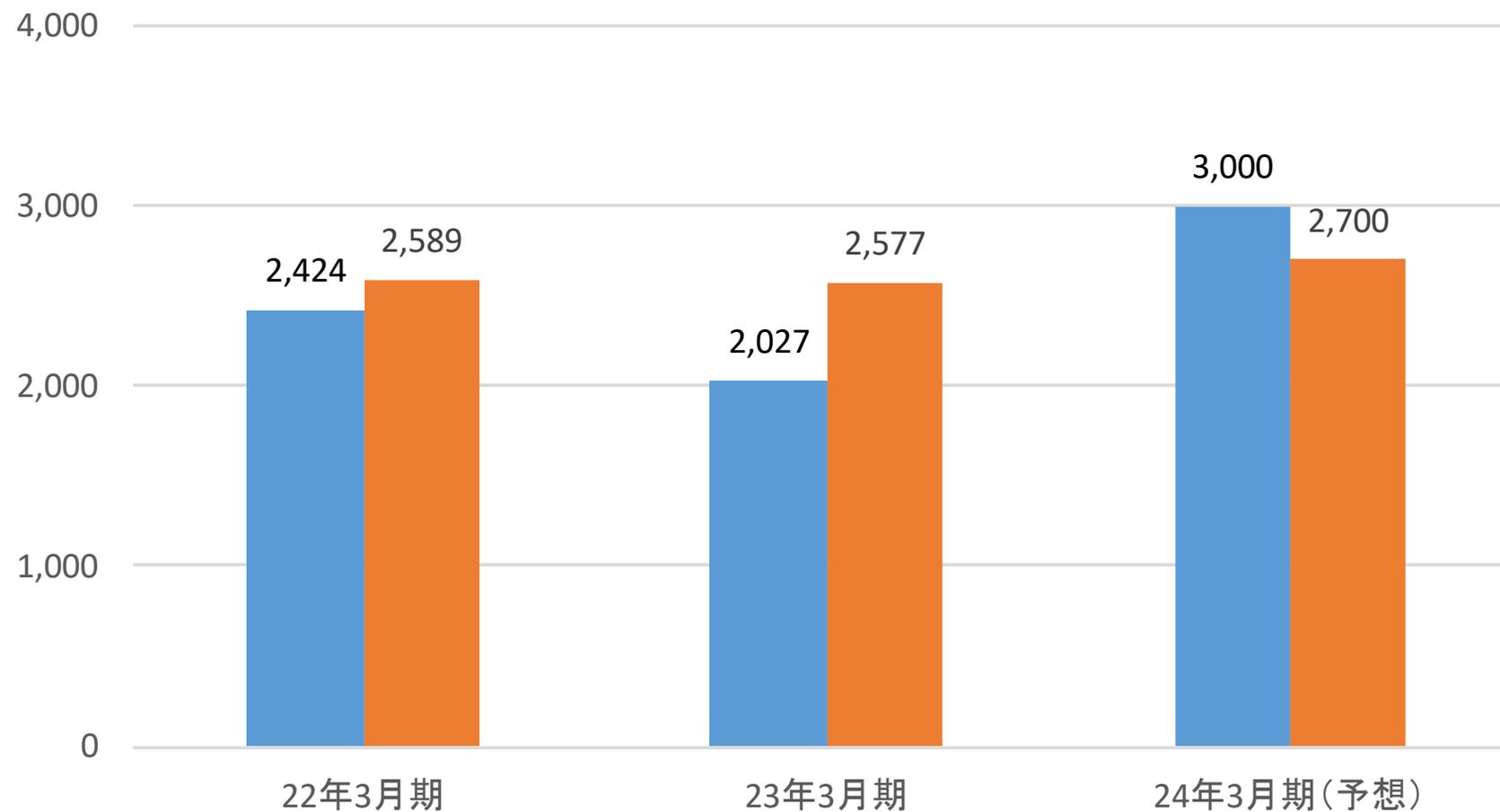
3. 補足資料

- 3-1 設備投資・減価償却費
- 3-2 研究開発費
- 3-3 キャッシュフローの状況
- 3-4 株主還元

3-1 設備投資・減価償却費

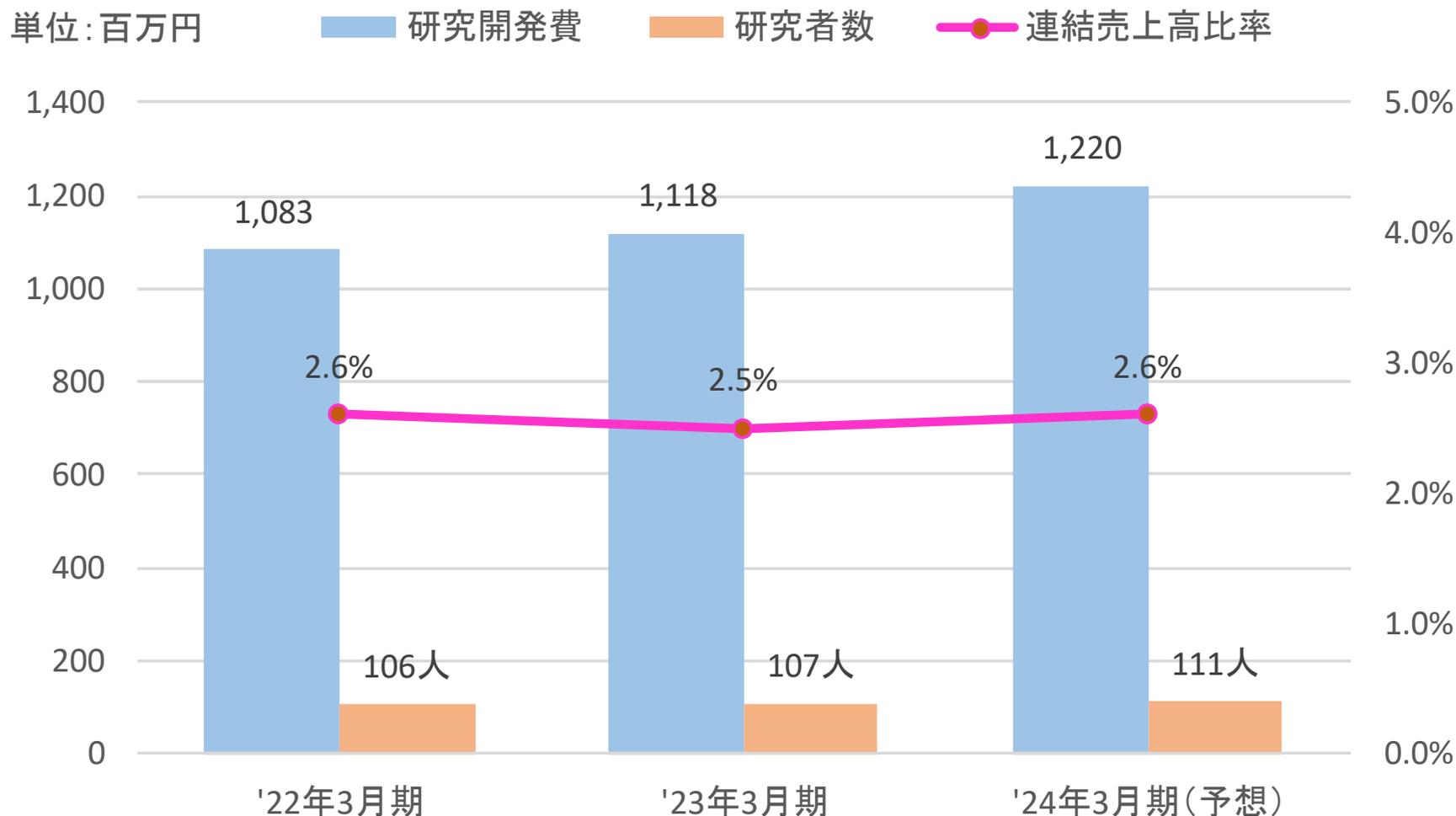
単位：百万円

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



・24年3月期は主として自動車向けの金型や自動化・省力化投資を実施予定

3-2 研究開発費



- ・ゴム・プラスチック製品を開発するためのコア技術（材料、加工、金型、設備）や解析技術を駆使
- ・エネルギー、情報通信、環境対応など新しい技術を必要とする成長市場にチャレンジする

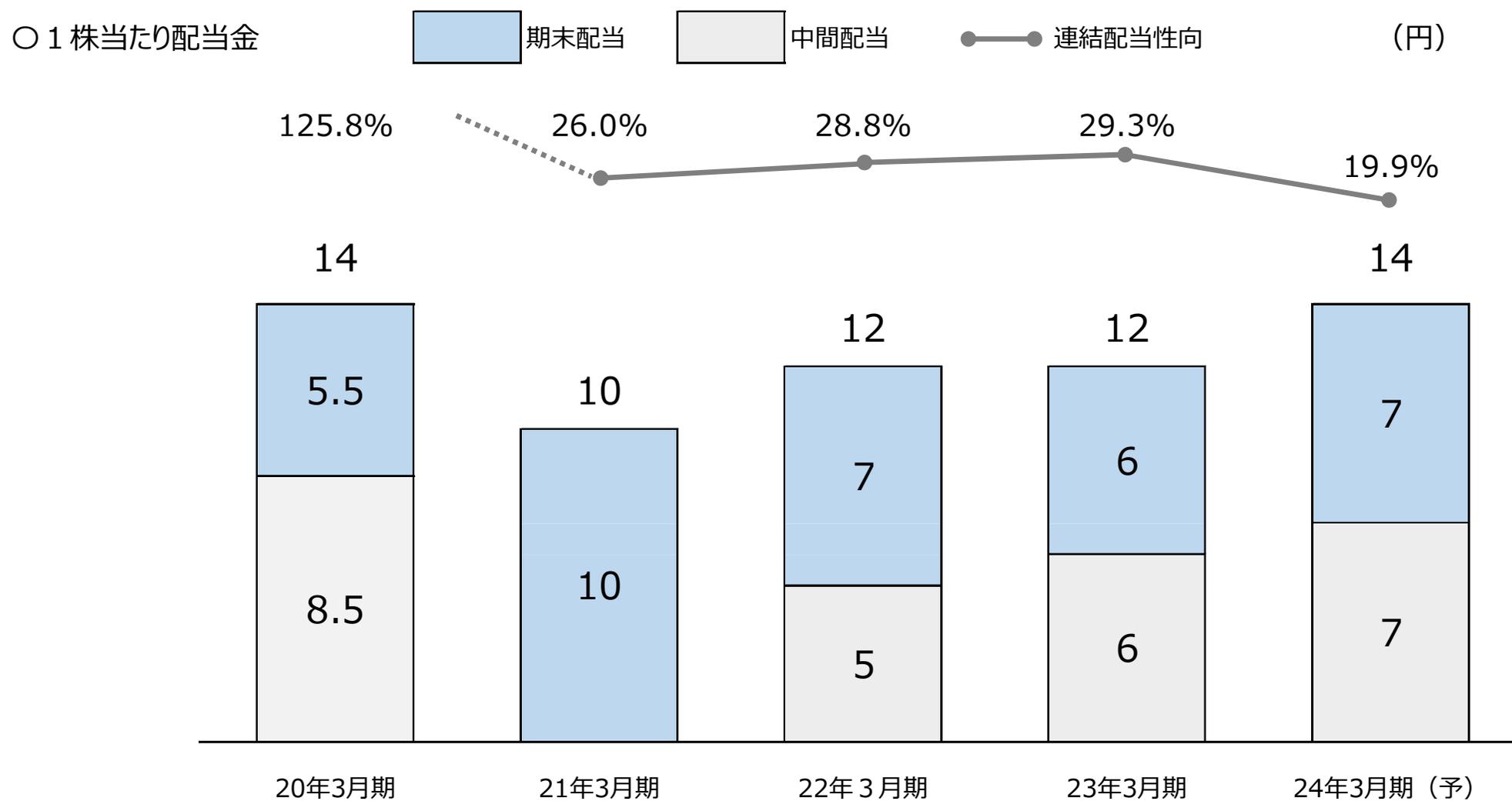
3-3 キャッシュ・フローの状況

| | 23年3月期 | 24年3月期 | (単位：百万円) 前期増減 |
|------------------------|--------|--------|------------------|
| | 実績 | 実績 | 金額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー（営業CF） | 2,608 | 3,147 | +539 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー（投資CF） | -2,127 | -2,295 | -168 |
| フリー・キャッシュ・フロー（FCF） | 480 | 852 | +371 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー（財務CF） | -718 | -168 | +550 |
| 為替変動による影響等 | 493 | 612 | +118 |
| 現金及び現金同等物の増減 | 255 | 1,296 | +1,040 |
| 期末の現金及び現金同等物の残高 | 9,024 | 10,320 | +1,296 |

・財務CFの支出の減少は短期借入金調達したことによるもの

3-4 株主還元

配当性向（目標値：連結20%、個別25%）を踏まえて安定配当を維持継続する



本資料取り扱い上の注意点

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

タイガースポリマー株式会社
